

報道関係者各位

2018年6月19日

世界 10 カ国から帰国直後の高校生 91 人が集結！ グローバル人材の卵たちが 1 年間の海外体験をプレゼン

日時：2018年7月8日（日）10：30～12：30（開場10：00）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール

「ことばと人間」をテーマに多言語の自然習得と多国間交流を実践している、一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ（本部／東京都渋谷区、代表理事／鈴木堅史、以下「ヒッポファミリークラブ」）は、2017年度の海外高等学校交換留学（Year Long Program、以下「イヤーロングプログラム」）の帰国生による体験報告会を開催します。この報告会は毎年7月に開催しているもので、今回は2017年度のイヤーロングプログラムで世界10カ国に留学した高校生91人が全国から集まり、1年間の海外ホームステイと現地の高校生活について体験を基にしたプレゼンテーションを行います。

近年、「2020年に12万人の留学生を送り出す」という国の目標のもと、高校生までの若年層における留学への関心が高まっています。この報告会を通じて、留学から帰国間もない高校生の生の声を聞いていただき、将来、国際社会でグローバル人材として活躍する若者達の可能性を感じていただけたら幸いです。

開催概要

■日時：2018年7月8日（日）10：30～12：30
（開場10：00）

■場所：国立オリンピック記念青少年センター カルチャー棟 大ホール
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

■内容：

- 司会挨拶
- 留学国別パフォーマンス（約40分）
タイ、アメリカ、カナダ、フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア、スペイン、メキシコ、ロシアの10カ国
- 留学体験談のプレゼンテーション（3名・約30分）
- 留学生全員のひと言メッセージ（約30分）
- 自主制作『思い出のスライドショー』上映（約15分）



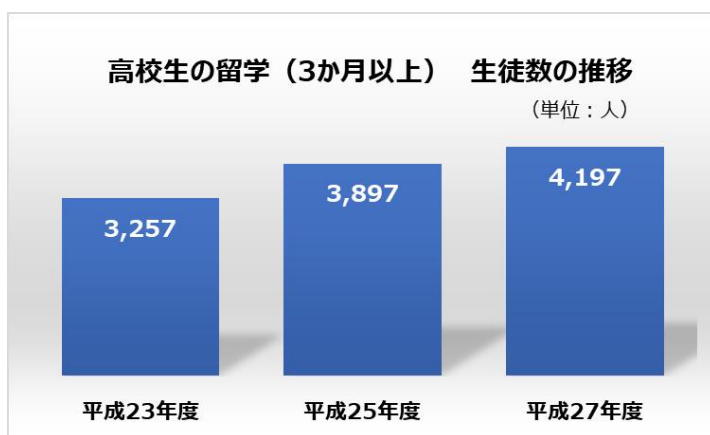
スペイン留学チームのパフォーマンス（昨年）



フランス留学の
体験談プレゼン
（昨年）

【報道関係お問い合わせ先】

一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ 広報担当 TEL:03-5467-7041



留学先国・地域の順位

1	アメリカ
2	ニュージーランド
3	カナダ
4	オーストラリア
5	イギリス
6	ドイツ
7	フランス
8	イタリア
9	フィンランド
10	スイス

出典：文部科学省「高等学校等における国際交流等の状況について」

ヒッポファミリークラブのイヤーロングプログラムは、高校生が約1年間、海外でホームステイをしながら現地の高校に通って勉強するもので、1997年の開始以来、20年間で21の国や地域に約1,600人の高校生を送り出しています。海外体験に挑戦したいという若者の志をヒッポファミリークラブが全面的に支援することで、毎年ほぼ全員が留学の全日程を終えて帰国しています。留学後のアンケートでは「語学力の向上」とあわせ、「ポジティブに考える力がついた」、「多様に考える力がついた」といった内面的な成長に関するコメントも多く寄せられています。

■一般財団法人 言語交流研究所

1981年10月、多言語活動の提唱者である榊原陽氏が設立。以来、「ことばと人間」を研究テーマに、多言語の自然習得及び多国間交流の実践を通して、言語と人間の科学的探究を進め、国際間の理解と人類の共生に寄与することを目的とした活動を行っている。2013年1月に一般財団法人に移行、2018年10月に設立37周年を迎える。

■ヒッポファミリークラブ（会員制）

一般財団法人 言語交流研究所が運営する「ヒッポファミリークラブ」（会員制）は、「多言語の自然習得活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の3つを柱とし、家族や地域の会員と共に、様々な国や地域のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、共に育つことのできる環境づくりに取り組んでいる。2018年6月時点、全国約700カ所の活動場所に約20,000名のメンバーが所属し、日本国内だけでなく海外（アメリカ、メキシコ、韓国）にも活動が広がっている。

■オフィシャルサイト

<http://www.lexhippo.gr.jp/>

【報道関係お問い合わせ先】

一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ 広報担当 TEL:03-5467-7041